

1. 略歴

- 1994年3月 東京大学文学部西洋史学専修課程 卒業
1994年4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程西洋史学専攻 入学
1996年3月 東京大学大学院人文社会系研究科修士課程西洋史学専攻 修了
1996年4月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程西洋史学専攻 進学
1998年10月 ロシア連邦ロシア科学アカデミー・ロシア史研究所留学（文部省アジア諸国等派遣留学生）
（～2000年9月）
2003年3月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程西洋史学専攻 単位取得退学
2005年10月 博士（文学）学位取得
2006年9月 新潟国際情報大学情報文化学部情報文化学科 専任講師
2010年4月 東京理科大学理学部第一部教養学科 准教授
2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

近現代ロシア史

b 研究課題

ヨーロッパの周縁としてのロシアから、20世紀史を捉え直すこと。

c 概要と自己評価

コロナ禍によって研究計画が大幅に遅れたが、ロシア革命・内戦期の政治史について、国際的な視点に立って検討するいくつかの論稿を発表することができた。コロナ禍について、日本の西洋史学研究はこれをどう受け止めるのかという観点からの論稿も発表した。2022年2月末にロシア・ウクライナ戦争が勃発してからは、JCREES（日本ロシア・東欧研究連絡協議会）の代表理事および ICCEES（国際中欧・東欧研究協議会）日本代表として、国内の関係団体および各国のロシア・東欧研究者と頻りに連絡をとり、学界としての対応に努めた。この戦争について、いくつかのインタビューにも応じ、社会に向けて一研究者としての考えを伝えた。

d 主要業績

(1) 著書

池田嘉郎、「コロナ禍と現代国民国家、日本、それに西洋史研究」、歴史学研究会編、中澤達哉・三枝暁子監修『コロナの時代の歴史学』、績文堂出版、2020.12、80-87頁

池田嘉郎、「ソヴィエト・ロシアにおける「人民の武装」——全般的軍事教練と特別任命部隊」、鍋谷郁太郎編『第一次世界大戦と民間人——「武器を持たない兵士」の出現と戦後社会への影響』、錦正社、2022.3、169-203頁

池田嘉郎、「挫折した帝政の体制内改革と「共和制の帝国」ソ連への連続——ロシア帝国の崩壊」、鈴木董編『帝国の崩壊 下 歴史上の超大国はなぜ滅びたのか』、山川出版社、2022.5、89-115頁

池田嘉郎、「パリ講和会議とロシアの内戦」、木村靖二編『1919年 現代への模索（歴史の転換期11）』、山川出版社、2022.7、22-72頁

(2) 論文

Yoshiro Ikeda, Time and the Comintern: Rethinking the Cultural Impact of the Russian Revolution on Japanese Intellectuals, Christopher Balme, Burcu Dogramaci, Christoph Hilgert, Riccardo Nicolosi, Andreas Renner (eds.): Culture and Legacy of the Russian Revolution: Rhetoric and Performance – Religious Semantics – Impact on Asia (Berlin: Frank and Timme: 2020), pp. 227-240

池田嘉郎、「V. D. ナボコフとロシア革命」、『SLAVISTIKA』35号、2020.8、187-203頁

(3) 学会発表

国内、池田嘉郎、「第一次世界大戦期ロシアにおける保養地をめぐる政治」、日本西洋史学会大会（大阪大学）、2020.12.12（オンライン）

国際、Yoshiro Ikeda, The Sanatorium Movement, the Union of Towns and the Envisioning of Post-War Russia, 1914-1917, NYU Jordan Center for the Advanced Study of Russia, April 26, 2021 (online)

国際、Yoshiro Ikeda, Why Jellinek? Why Germany? Russian liberals' quest for a constitutional monarchy in the early 20th century, Higher School of Economics (St. Petersburg), Center for Historical Research, November 25, 2021 (online)

(4) 啓蒙

池田嘉郎 (インタビュー)、「(ウクライナ 相克の近現代史) (上) : ロシア「帝国」の幻影 復活」、「同 (下) : 「帝国」衝突の最前線に」、『日本経済新聞』2022.3.3、48 面、2022.3.4、44 面

Yoshiro Ikeda, Reviving the empire: Putin follows the path of Stolypin and Stalin, Nikkei Asia. Mar. 28-Apr. 3, 2022, pp. 8-9

池田嘉郎 (インタビュー)、「ロシア 強権の歴史」、『朝日新聞』2022.5.11、13 面

池田嘉郎 (インタビュー)、「ウクライナ侵攻 映画「ドンバス」が映し出すもの」、『毎日新聞』(夕刊)、2022.7.11、2 面

(5) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 C、池田嘉郎 (研究代表者)、「第一次世界大戦から 1930 年代までのロシアにおける身体——労働・医療・モラル」、2019～2021

3. 主な社会活動

(1) 学会

ICCEES (International Council for Central and Eastern European Studies), member of the Executive Committee

JCREES (日本ロシア・東欧研究連絡協議会) 代表幹事、ICCEES 日本代表